

関係人口創出・拡大に向けた スキルアップセミナー

＜応募説明会＞

主催 内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局／内閣府地方創生推進室
事務局 株式会社価値総合研究所、NPO法人ETIC.(共同運営)

録画のお願い

本日の説明会は下記の用途で録画をさせていただきます。

①記録用

②スキルアップミーティング申込者で希望者が視聴

→個別に限定公開URLをお送りします。

< 本日の流れ >

1. 第1回の概要・スケジュール
2. メンターの紹介
3. 参加にあたっての注意事項
4. 前回、参加者の体験談
5. 質疑応答

< 事務局 >

株式会社価値総合研究所

**企画・当日進行・運営
NPO法人ETIC.**



伊藤 淳司(いとう じゅんじ)

NPO法人ETIC.(エティック) ローカルイノベーション事業部 事業部長

愛知県名古屋市生まれ、2歳～17歳までは広島市在住。早稲田大学教育学部卒。1997年からETIC.に参画し、日本初の長期実践型インターンシップ「アントレプレナー・インターンシップ・プログラム(EIP)」の事業立ち上げに携わる。コーディネーターとして、これまで1000社以上に対して外部人材を活用した新規事業立ち上げ・少数精鋭組織のコンサルティングに関わる。2004年から「若者×経営者×地域=挑戦が生まれる日本」を目指すチャレンジ・コミュニティ・プロジェクト(チャレコミ)の立ち上げに参画。現在も日本全国の多様な地域・セクターのコーディネーター育成を担当。その他、社会起業家予備軍の成長過程におけるプロセス評価分析、行政・地方自治体との起業支援事業、関係人口・外部人材活用事業、大学との実践型カリキュラム開発も担当。早稲田大学MBA取得。専門は『起業家型人材が有する思考・行動特性(コンピテンシー)に関する研究』。立教大学経営学部、横浜国立大学経営学部の非常勤・兼任講師。一般社団法人地域・人材共創機構理事、NPO法人Eyes理事、NPO法人いつきつなぎ監事も務める。

◆高等教育(非常勤/兼任講師)

- 立教大学経営学部「長期実践プログラム」(事前事後授業+実践型インターンシップ 4週間(4単位)or4か月以上フルタイム(10単位))
- 横浜国立大学経営学部「マーケティングプラクティス」(PBL型)／「マイプロジェクトランチャー」
- 早稲田大学MBAコース「NPOと社会起業家から学ぶリーダーシップ」(2010年～2015年)
- 高知大学客員准教授(2014-2020)長期社会協働インターンシップ(CBI-Collaboration Based Internship-)を2004年から協働開発。新2年次3月～9月までの半年間、首都圏でフルタイムの長期インターンシップに参加して 14単位。

◆専門家会議・委員等:

- 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」中国四国地域(高知大学グループ・島根グループ)第三者評価機関・外部委員。中四国地域の大学におけるインターンシップの質と量の拡充のサポート(2013-15)
- 産業経済研究委託事業(経済産業省)「教育的効果の高いインターンシップの普及に関する調査」(2014)上席研究員
<https://www.meti.go.jp/policy/economy/jinzai/intern/intern.html>
- 文部科学省「大学教育再生加速プログラム(Acceleration Program for University Education Rebuilding: AP)」テーマIV津田塾大学学外学修センター外部評価委員(2019)
- 総務省「関係人口創出・拡大事業」モデル事業評価委員(2019)
- 総務省「地域おこし協力隊ビジネスサポート事業」審査員・アドバイザー(2019-21)
- 内閣府まち・ひと・しごと創生本部「[地方創生インターンシップ推進研究会](#)」委員(2018-21)
- 総務省「関係人口創出・拡大事業」モデル事業の委託に関する提案書評価委員(2020)
- 内閣府「地方公共団体における多世代交流を通して活性化する コミュニティづくりの具体化に向けた支援に関する調査研究」委員(2021)



- 釜石エリア（岩手県釜石市）での関係人口の取り組みを体感する
- 中間支援機能（株式会社パソナ東北創生）の役割とビジネスモデルを理解
- 自団体（自地域）の関係人口に関する取り組みをバージョンアップ

開催概要 9月1日(金)～9月2日(土)

研修会名	第1回 関係人口創出・拡大に向けた地域セミナーin 釜石市
日時	2023年9月1日(金)～ 2023年9月2日(土)
実施場所	岩手県釜石市
実施内容	・実際に協働している関係者への訪問、フィールドの視察 ・全体での親睦会 ・メンターとのブラッシュアップ会 など
定員	15名(団体) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。 ※複数人の参加を希望される場合には、代表者の方名がお申し込み下さい
参加費	22,000円/1人(税込) ※参加費は、現地にて徴収を致します ※現地までの往復交通費、宿泊費、懇親会費などは自己負担となります
対象者	かかわりラボ会員 ※応募申込後の入会でも可能です ・関係人口の創出・拡大に向けた取り組みを行っている ・具体的に検討している中間支援団体、民間事業者、地方公共団体の方 等
備考	■第2回地域セミナー 2023年1月開催予定 開催地域については9月頃発表します。第2回も1泊2日での関係人口に先進的に取組む地域での現地開催を予定しており、詳細は決定次第かかわりラボHPにてお知らせいたします。 <実施内容>現地視察、地域パーソンとの交流、メンターとのディスカッション等 ※第1回、第2回は別の内容となりますので、両方に参加可能です。

1日目 9月1日(金) 13:00開始

●オリエンテーション

震災以降10年以上、オープンシティをコンセプトに多くの関係人口に関する事業を推進している釜石市での取組等について、お話をいただきます。

[登壇者]

石井重成 氏 (青森大学准教授/前・釜石市オープンシティ推進室長)

戸塚絵梨子 氏 (株式会社パソナ東北創生 代表取締役社長)

河東英宜 氏 (株式会社かまいしDMC 代表取締役)

●フィールドワーク

下記①～⑤のテーマで実際に協働している方々を訪問します。

①副業兼業 ②インターン ③ワーケーション ④企業版ふるさと納税

⑤DMC/DMO

●振り返り

各参加者の気づきなどを全員で共有します。

●アフタータイム

親睦会 18:00～

2日目 9月2日(土) 9:30開始

●ブラッシュアップ会

各参加者の取組のアイデアや事業戦略などを共有し合い、メンターとの対話を通じて事業としてのブラッシュアップを図ります。

※ブラッシュアップ会にむけて、現状での取組に関連する資料(事業の内容や体制、現在の課題、相談内容等を記載)を作成・提出して頂きます

●事業戦略作り

ブラッシュアップ会を踏まえ事業戦略の再構築

アクションプランの発表

※適宜メンターがサポートします

2日目の終了時刻は15時を予定しています。

オプションツアー(任意参加)

参加者の希望に応じて、1日目午前中、または2日目夕方に釜石市内の視察ツアーを実施予定です。

- ・9月1日(金)～2日(土)の両日、現地参加できる方に優先的にご参加頂く予定です。
- ・定員は15名程度を想定していますが参加人数によってコースやディスカッションの形式を変更します。

スケジュール (1日目:9月1日(金))

時間	内容	備考
	<ul style="list-style-type: none"> ●東京方面から 東京発 07:16-09:50[154分]はやぶさ101号(盛岡行) 新花巻 [乗換5分+待ち2分]釜石線(釜石行) 09:57-12:07 釜石着 12:07 ●伊丹空港・神戸空港・名古屋小牧空港→花巻空港(車で釜石まで80分ぐらい) ●仙台空港から車で2時間45分 	<ul style="list-style-type: none"> ●集合場所&会場 釜石PIT(釜石情報交流センター)(釜石駅より徒歩10分) 釜石市大町一丁目1番10号 https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2015122100079/
13:00~14:00	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■取組紹介 ・震災以降10年以上、オープンシティをコンセプトに多くの関係人口に関する事業を推進している釜石市での取組や釜石市の紹介 ■自己紹介:参加者同士の自己紹介 	<p><登壇者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・石井重成氏(青森大学 准教授/前・釜石市オープンシティ推進室長) ・戸塚絵梨子氏(株式会社パソナ東北創生 代表取締役社長) ・河東英宜氏(株式会社かまいDMC代表取締役) ・釜石市役所(調整中)
14:00~17:00	<p>【フィールドワーク】</p> <p>①副業兼業②インターン③ワーケーション④企業版ふるさと納税⑤MC/DMO</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のテーマで実際に協働している方々を訪問 ※上記以外に関心があるテーマがありましたら申込の際に記載ください 	<p><訪問先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・河東英宜氏(テーマ:釜石DMC、ワーケーション、企業版ふるさと納税など)@伝承館 ・中田 義仁氏(有限会社中田薬局代表取締役・テーマ:副業兼業・インターンの受け入れについて)
17:00~18:00	<p>全体共有会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各コースでの体験や気づきなどを参加者全員で振り返り共有 	<p>釜石PIT(釜石情報交流センター)釜石市大町一丁目1番10号 https://www.city.kamaishi.iwate.jp/docs/2015122100079/</p>
18:00~18:30	移動	ホテルは釜石駅を中心に徒歩圏内で各自予約
18:30~20:30	懇親会	会場近く(徒歩圏内)で開催します。



戸塚 絵梨子（とつか えりこ）

株式会社パソナ東北創生 代表取締役社長

早稲田大学教育学部卒業後、新卒で2009年株式会社パソナに入社。都内企業に向けた人材サービスの営業に従事。2011年の東日本大震災発生から被災地でのボランティア活動に取り組む。

2012年に休職し、NPO法人ETIC.右腕派遣プログラムにより釜石市の一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校に入職。2013年にパソナに復職後、継続した地域との関わり方を模索するなかで社内起業制度を活用し、2015年にパソナ東北創生を岩手県釜石市に設立。都市と地域の関係性を見つめなおし、新たな生き方・働き方を創出することを目指して活動中。



都市と地域の関係創出支援

首都圏を中心とした企業や個人に対して、地域と関わる機会を提供

- ✓ 研修・フィールドワーク運営
- ✓ 地域のインターンシップ運営
- ✓ 首都圏での関係人口創出・採用イベント実施

地域での多様なキャリア支援

UIターンの移住支援や地域内創業支援、地域企業への採用支援など、「はたらく」を中心とした多様な支援を実施

- ✓ ローカルベンチャー推進事業
- ✓ 多様な働き方創出支援（複業・プロボノマッチング）
- ✓ 地場企業の採用支援



石井 重成 (いしい かずのり)

青森大学准教授/前・釜石市オープンシティ推進室長

国際基督教大学を卒業後、経営コンサルティング会社を経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ移住。地方創生の戦略立案や官民パートナーシップを統括。半官半民の地域コーディネーター機関の創設、グローバル金融機関と連携した高校生キャリア教育、広域連携による移住・創業支援プログラム、ローカルSDGs、ラーニング・ワーケーションなど、関係人口を生かした持続可能なまちづくりを探求。

地域の中間支援や組織開発を支援し、都市部企業との共創を推進。総務省地域情報化アドバイザー、内閣官房シェアリングエコノミー伝道師、青森大学客員准教授。『Arts of Local Career ローカルキャリア白書』を編纂。愛知県西尾市生まれ



稲垣文彦 (いながき ふみひろ)

NPO法人ふるさと回帰支援センター 副事務局長 博士(工学)

1967年、新潟県長岡市生まれ。明治大学商学部卒業、長岡技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程修了。専門は災害復興と地域づくり。外部人材を活用した新たな内発的發展論を展開し、地域づくりにおける住民の主体形成プロセスを研究。国の地域おこし協力隊、集落支援員、関係人口の施策等の普及、人材育成等に尽力。他に総務省地域力創造アドバイザー、地域おこし協力隊サポートデスクスーパーバイザー、内閣府令和4年度関係人口創出・拡大のための対流促進事業選定委員会委員、(公社)中越防災安全推進機構理事、日本災害復興学会理事等。主な著書として「震災復興が語る農山村再生地域づくりの本質(2014)コモンズ」等。表彰等International Society for Integrated Disaster Risk Management Norio Okada Implementation Science Award for year 2021。



河東 英宜 (かとう ひでたか)

株式会社かまいしDMC代表取締役

釜石市出身。旅行系出版社を経て、2017年にパソナグループに転じ、NVCF投資政策委員会にて地域創生事業に携わる傍ら、観光地域づくり法人(DMO)である株式会社かまいしDMCの制度設計を行い、2018年4月にかまいしDMCを設立



中田 義仁 (なかた よしひと)

有限会社中田薬局代表取締役

釜石市出身。釜石を中心に4店舗を構える有限会社中田薬局の2代目社長。地域医療に根ざした「かかりつけ薬局」を目指している。岩手県薬剤師会常務理事、学校薬剤師会釜石支部長、釜石薬剤師会副会長、釜石シーウェイブスRFCスポーツファーマシスト、釜石シーウェイブスRFC常任理事など釜石のラグビー支援等も行っている。

スケジュール 2日目:9月2日(土)

時間	内容	備考
9:15~	集合・2日目のオリエンテーション	(会場) 根浜レストハウス多目的ルーム(定員60人) 釜石市鶉住居町第21地割17-3 根浜シーサイド内
9:30~12:30	<p>【ブラッシュアップ会】 各参加者の取組のアイデアや事業戦略などを共有し合い、メンターとの対話を通じて事業としてのブラッシュアップを図ります。 ※ブラッシュアップ会にむけて、現状での取組に関連する資料(事業の内容や体制、現在の課題、相談内容等を記載)を事前に作成・提出して頂きます</p> <p>※4つのグループに分かれて、参加者各自の関係人口の取り組み状況の共有および前日の視察も踏まえた関係人口事業のブラッシュアップ会をメンターと共に開催</p>	9:30-10:20 ブラッシュアップミーティングA(50分) (参加団体プレゼン15分・意見交換35分) 10:20-10:30 休憩 10:30-11:20 ブラッシュアップミーティングB(50分) (参加団体プレゼン15分・意見交換35分) 11:20-11:30 休憩 11:30-12:20 ブラッシュアップミーティングC(50分) (参加団体プレゼン15分・意見交換35分)
12:20~13:45	昼食	会場近辺で分かれて食べます。
13:45~14:45	<p>事業戦略作り メンターとのブラッシュアップ会を踏まえて各自で関係人口に関する事業を再構築する時間を取ります。</p>	(会場) 根浜レストハウス多目的ルーム(定員60人) 釜石市鶉住居町第21地割17-3 根浜シーサイド内
14:45~15:00	全体振り返り会 →解散	
15:00~	オプションツアー	翌日も含めて参加希望者のニーズや人数によって調整します

● 宿泊について

- JR釜石駅を中心に徒歩圏内のホテルを各自で予約してください。
 - ホテルフォルクローロ三陸釜石<JR東日本ホテルズ>
 - ホテルクラウンヒルズ釜石(旧:ホテルサンルート釜石)
 - ホテル ルートイン釜石
 - 釜石ベイシティホテル

● 交通機関について

- 行き(9月1日13:00の開始に間に合うために)
 - 東京方面から
 - 東京発 07:16-09:50[154分]はやぶさ101号(盛岡行)
 - 新花巻発 [乗換5分+待ち2分]釜石線(釜石行) 09:57-12:07[130分]
 - 釜石着 12:07
- 帰り(9月2日15:00終了後、すぐ移動される方)
 - 釜石駅発 17:47発

参加にあたっての注意事項

申込～当日までの流れ

● お申し込みから当日までの流れ



- 9月の第1回(釜石)に参加した方も第2回に参加頂くことができます。
- 9月1日、2日の両日参加出来る方はを優先的に参加頂きますが、万が一、どちらかの日程のみの参加を希望される方も申込を受け付けますので申込時に記載ください。
- なるべく締切前にお早めに申し込みください。皆さんのニーズに合ったメンターとの組み合わせを検討するために、個別ヒアリングは「参加決定のご連絡」より前から随時実施します。

申込方法・問い合わせ

● お申し込み方法

下記のWEBサイトより詳細をご確認いただき、申込フォームもしくは申込用紙（Excel形式）に、必要事項を記入してお申し込み下さい

申込用紙からのお申し込みの場合は、kakawari@vmi.co.jp までご送付ください

株式会社価値総合研究所WEBサイト

「関係人口創出・拡大に向けたスキルアップセミナー in 釜石 参加者募集のご案内」

申込サイト <https://www.vmi.co.jp/jpn/event/001894/index.html>



● お問い合わせ先

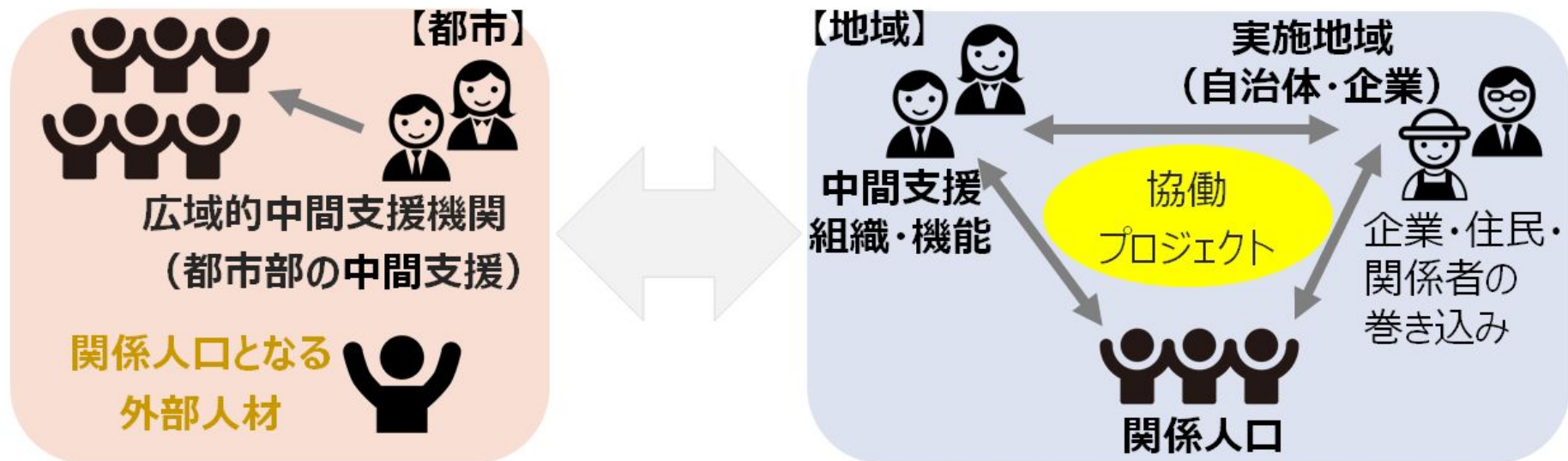


かかわりラボ事務局（株式会社価値総合研究所 事業開発部）新井、木村

TEL: 03-5205-7902 E-mail: kakawari@vmi.co.jp

參考資料

関係人口創出・拡大にむけた7つの問い



- ①自分の地域は何に挑戦したいのか、課題は何か？
- ②どんなことを誰と実施したいのか？
- ③協働プロジェクトをどのように設計するのか？
- ④関係人口のターゲットは？
- ⑤地域外からの関係人口の集め方は？

- ⑥関係人口の受入体制は？
- ⑦継続の仕組みは？

地方創生カレッジ

「184:関係人口創出・拡大にむけた入門講座

～地域づくりにおける、新しい担い手の見つけ方～」2021年4月開講！

第1章 関係人口の概要を理解する

- レッスン1 関係人口とは（インタビュー：明治大学小田切徳美氏）
- レッスン2 関係人口がもたらすメリット
- レッスン3 関係人口創出のモデル
- レッスン4 まとめ

第2章 事例を知る

- レッスン1 事例1 商品購入型＜動画編＞ 熊本県五木村
- レッスン2 事例1 商品購入型＜解説編＞
- レッスン3 事例2 ラーニングツーリズム型＜動画編＞ 三重県尾鷲市
- レッスン4 事例2 ラーニングツーリズム型＜解説編＞
- レッスン5 事例3 地域副業型＜導入編＞
- レッスン6 事例3 地域副業型＜動画編＞ 三重県尾鷲市
- レッスン7 事例3 地域副業型＜解説編＞
- レッスン8 事例4 ワークेशन型 石川県七尾市
- レッスン9 まとめ

第3章 関係人口創出に向けて

- レッスン1 関係人口創出の目的を定める
- レッスン2 プロジェクト設計のコツ
- レッスン3 関係人口の対象となる人材との関係性づくりについて
- レッスン4 地域での役割分担
- レッスン5 まとめ

変革の現場に挑む機会を通して、**アントレプレナーシップ(起業家精神)**溢れる人材を育みます。そして、創造的で活力に溢れ、ともに支え合い、課題が自律的に解決されていく社会・地域を実現していきます。

- 設立: 1993年(法人化: 2000年3月)
- スタッフ: 137名(うち専従50名)※2022年5月31日現在 年間予算: 約9.7億円(※2022年5月31日現在)

事業内容:

1)ベンチャー・NPO・地域中小企業向け長期実践型インターンシップ事業(1997年～)

2800名の大学生が参加。うち、154名が起業または創業メンバーとして参画。経営者の挑戦学生の当事者意識。

2)ソーシャルイノベーション事業(2002年～)

400名以上の社会起業家を輩出。事業継続率100%を超える。地域の創業支援事業や起業型協力隊事業も全国の自治体と連携。

3)ローカルイノベーション事業(チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト /2004年～)

全国70地域の地域コーディネート機関(=まちの人事部機能)と連携。大学生の実践型インターンや社会人右腕・副業事業、関係人口事業等で協働。

4)震災復興支援事業(右腕派遣事業など /2011年～)

5)ソーシャルベンチャー・NPO求職サイト『DRIVE』(2013年～)

プログラム(一部抜粋)



30地域のコーディネート機関と運営。面白いプロジェクトが見つかる! 日本全国インターンシップ検索サイト。

1か月間、地域に住み込みで経営者とプロジェクトに挑戦する地域ベンチャー留学。



地域企業の経営者と二人三脚で実施するプロジェクトに副業で参画する人材のためのマッチングサイト。



各地で挑戦の生態系の創出を目指す70地域のコーディネート機関のコミュニティ。ノウハウ交換と協働プロジェクトの種を育む。



家業イノベーションラボ。二代目・三代目経営者らによる家業の成長支援を推進するプロジェクト。



地域で新たな仕事を生み出す起業家「ローカルベンチャー」創出を目指すプロジェクト

全国に広がる地域プロデューサー(地域コーディネート機関)

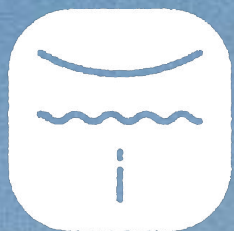


- 01 北海道・札幌市 | NPO法人北海道エンブリッジ
- 02 北海道・浦幌町 | 株式会社ノースプロダクション
- 03 北海道・下川町 | NPO法人森の生活下川町産業活性化支援機構
- 04 北海道・厚真町 | 厚真町役場株式会社エーゼロ厚真
- 05 青森県・青森市 | NPO法人プラットフォームあおもり
- 06 青森県・八戸市 | 株式会社バリューシフト
- 07 岩手県・盛岡市大船渡市 | NPO法人wiz
- 08 岩手県・宮古市 | NPO法人みやっこベース
- 09 岩手県・釜石市 | 釜石市役所株式会社パノナ東北創生
- 10 秋田県・秋田市 | 株式会社あきた総研
- 11 秋田県・羽後町 | NPO法人みらいの学校
- 12 山形県・山形市鶴岡市 | サクラマスプロジェクト
(株式会社キャリアクリエイト、合同会社ork life shift)
- 13 宮城県・仙台市 | 一般社団法人ワカヅク
- 14 宮城県・石巻市 | 一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン
- 15 宮城県・気仙沼市 | 気仙沼市役所気仙沼まち大学運営協議会合同会社colore
- 16 宮城県・女川町 | NPO法人アスヘノキボウ
- 17 宮城県・南三陸町 | 株式会社SCCA
- 18 福島県・県北相双地区 | 一般社団法人Bridge For Fukushima
- 19 福島県・相馬市 | NPO法人相馬はらがま朝市クラブ
- 20 福島県・葛尾村 | 一般社団法人葛力創造舎
- 21 福島県・いわき市 | NPO法人TATAKIAGE Japan
- 22 福島県・郡山市 | NPO法人コースター
- 23 新潟県・長岡市 | (公)中越防災安全推進機構
- 24 富山県・富山市 | 合同会社ハビオブ
- 25 富山県・黒部市 | 黒部市役所
- 26 石川県・七尾市 | 七尾市役所株式会社御祝川
- 27 石川県・金沢市 | 株式会社ガクトラボ
- 28 福井県・福井市 | 株式会社keru
- 29 長野県・長野市 | 合同会社キキ・長野市役所
- 30 長野県・塩尻市 | 塩尻商工会議所・塩尻市役所
- 31 茨城県・日立市 | 株式会社えぼっく
- 32 栃木県・宇都宮市 | NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク
- 33 群馬県・桐生市 | 一般社団法人iKi
- 34 埼玉県・ときがわ町 | 株式会社温泉道場
- 35 東京都・渋谷区 | NPO法人ETIC.
- 36 東京都・豊島区 | 大正大学地域創生学部
- 37 神奈川県・横浜市 | NPO法人ETIC.横浜ランチ
- 38 千葉県・銚子市 | 銚子円卓会議
- 39 静岡県・熱海市 | NPO法人atamista
- 40 静岡県・浜松市 | 一般社団法人JOWN WAY
- 41 愛知県・名古屋市中 | NPO法人アスクネット
- 42 愛知県・岡崎市 | NPO法人コラボキャンパス三河

- 43 岐阜県・岐阜市 | NPO法人G-net
- 44 岐阜県・高山市 | NPO法人まちづくりリストポット
- 45 三重県・四日市市 | 一般社団法人わくわくスイッチ
- 46 三重県・尾鷲市 | 一般社団法人つちからみのれ
- 47 和歌山県・田辺市 | 株式会社ODAY
- 48 大阪府・大阪市 | NPO法人JAE
- 49 京都府・京都市 | 株式会社ツナグム
- 50 京都府・与謝野町 | 株式会社ローカルフラッグ
- 51 兵庫県・豊岡市 | 但馬信用金庫
- 52 兵庫県・宍粟市 | 人材力フル活用プラットフォーム推進会議(市役所・信金・商工会)
- 53 兵庫県・淡路市 | 淡路ラボ(株式会社次世代共創企画)
- 54 岡山県・岡山市 | NPOエアリアルベーション
- 55 岡山県・西粟倉村 | 西粟倉村役場エーゼロ株式会社
- 56 鳥取県・鳥取市 | NPO法人bankup
- 57 島根県・松江市 | 株式会社シーズ総合政策研究所
- 58 島根県・雲南市 | 一般社団法人umi/雲南市役所NPO法人おっちラボ
- 59 広島県・東広島市 | 行政書士なかしま事務所 中嶋直哉
- 60 山口県・周防大島町 | 株式会社ジブノオト
- 61 徳島県・徳島市 | 徳島大学COC+推進コーディネーター)
- 62 徳島県・南部市4町 | 「四国の右下」若者創生協議会(徳島県庁南部総合県民局)
- 63 徳島県・上勝町 | 上勝町役場合同会社バンゲア
- 64 徳島県・三好市 | WAKUWAKUHOUSE MATBA
- 65 愛媛県・松山市 | NPO法人Eyes
- 66 愛媛県・久万高原町 | 久万高原町役場ゆりラボ
- 67 高知県・高知市 | 高知大学
- 68 高知県・四万十町 | 一般社団法人いなかパイプ
- 69 福岡県・福岡市 | 4TuneShape株式会社・九州インターンシップ推進協議会
- 70 福岡県・飯塚市 | 株式会社ハウインターナショナル
- 71 熊本県・熊本市 | 一般社団法人フミダス
- 72 熊本県・南小国町 | 南小国町役場株式会社SMO南小国
- 73 熊本県・球磨郡五木村 | 株式会社日露
- 74 大分県・竹田市 | まちづくりたけた株式会社竹田市役所/一般社団法人竹田市移住定住支援センター
- 75 宮崎県・宮崎市 | 宮崎大学学び・学生支援機構地域人材部門Capa+(キャパタス)
- 76 宮崎県・日南市 | 日南市役所日南市ローカルベンチャー事務局
- 77 鹿児島県・鹿児島市 | 株式会社ママトピラ
- 78 鹿児島県・鹿児島市 | 一般社団法人テンラボ
- 79 鹿児島県・奄美大島龍郷町 | 一般社団法人E'more秋名
- 80 沖縄県・那覇市 | 一般社団法人しまのわ

太字:チャレンジコミュニティプロジェクト会員(2023年4月現在)
細字:その他事業等での連携コーディネート機関
下線:ローカルベンチャー協議会参加自治体

あしたをつねにする



vmi

Yamashita Minori

京都産業大学 経営学部卒
元 島根県雲南市地域おこし協力隊
現在 一般社団法人umi 代表理事

■出身

奈良県桜井市

■趣味

登山、海遊び、カメラ





代表理事 山下 実里

1994年、奈良県桜井市生まれ。
2017年京都産業大学を卒業し、地域おこし協力隊として島根県雲南市に移住。雲南市役所政策推進課の雲南コミュニティキャンパス事業の運営に携わる。任期終了後の20年4月、一般社団法人umi(旧:Community Careers)を設立。



理事 佐藤 満



事務局 伊藤 薫

三重県いなべ市出身、島根大学卒業後、地域おこし研究員として邑南町地域おこし協力隊兼、慶應義塾大学大学院修士課程に所属。2022年3月に任期及び修士課程修了。2016年の雲南コミュニティキャンパス事業開始当時より参加者、学生スタッフとして4年間関わり続け、弊社設立後は業務委託、R4年度より入社。



広報担当 石坂 志乃

1981年生まれ、千葉県出身。大学卒業後はIT企業に就職し大手金融機関の社内システム開発・保守に従事。のちに人材派遣会社に転職し勤怠・請求管理システムの管理保守を担当。2019年に一念発起し島根県雲南市に移住。産業体験にて農業を1年経験。令和5年1月より一般社団法人umiの広報担当及び事務サポートとして勤務。

Vision 地域で暮らし働く若者が明日に希望を持てる社会へ

Mission 若者に地域で輝ける可能性を届ける

地域応援事業

企業等地域団体の人材育成・確保力を高め、事業をさらに拡大する機運の醸成を目指します。

事業創出ラボSHIFT

(雲南市産業観光部)

事業展開を検討する若手事業者が集い、互いの事業アイデアを交わすセミナー



その他

人材活用セミナー
事業課題フォローアップ等

学び合い創出事業

地域と若者の学び合いの場を創出し、若者と共に未来を創造する地域づくりを目指します。

雲南コミュニティキャンパス事業

(雲南市政策企画部)

雲南市をまちまるごと大学生の実践のフィールドとし、大学生と地域の学び合いを創出する

インターンシップ設計・伴走

1ヶ月半～の実践型インターンシップをはじめとする設計・伴走支援



輝くきっかけ事業

若者のキャリア支援から実践機会の提供を通して、若者のウェルビーイングを探求します。

まちのキャリアセンター事業

(休眠預金)

学生だけでなく若者に開かれたキャリア形成の機会を提供する

- ・若者のキャリア相談窓口開設
- ・月一キャリア相談会



その他

- ・中～大学校やイベント等での講演
- ・大学等の授業による、フィールドワークの設計



- ❑ お声かけいただいたから
- ❑ 行ってみたい場所(七尾市)だったから
- ❑ なんとかしたい課題があるから

- ❑ 全国規模で課題に取り組む方々と出会える
- ❑ 対面だからこそその余白の時間がある
- ❑ 同世代の挑戦者と出会える
- ❑ 関係性が継続する

原体験をうむ拠点づくり

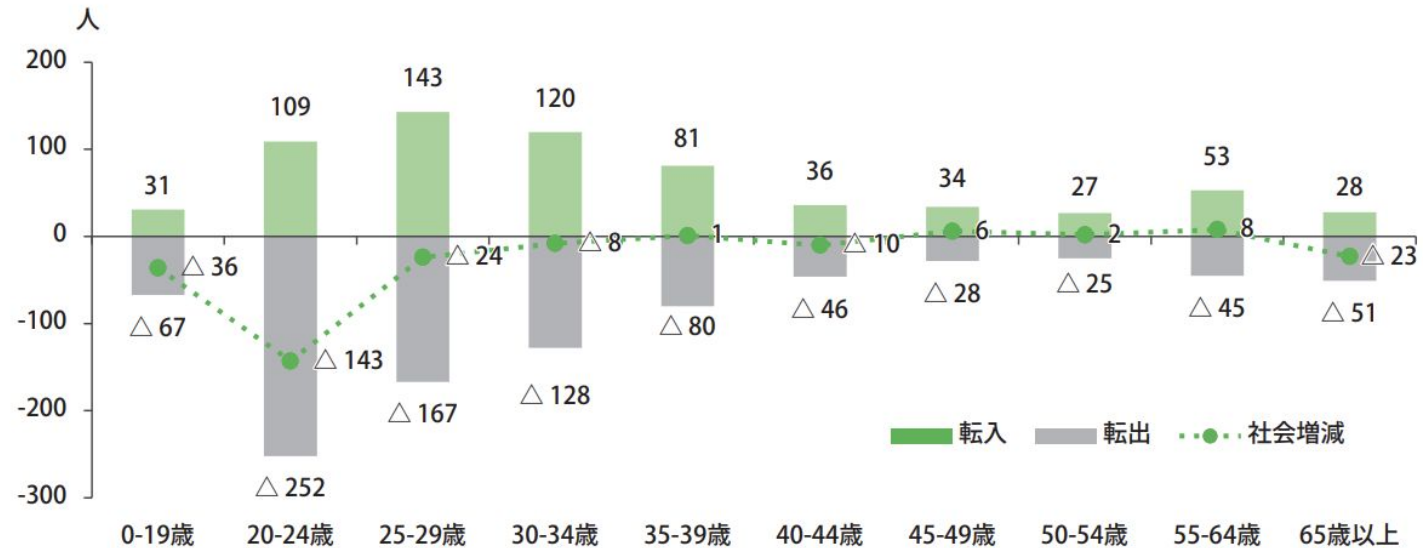
大学のないまちに、若者が集う。彼ら彼女らは、まちのヒト・モノ・コトを生かし、地域と共に生きながら一生ものの原体験を得る。その体験は、単なる学びとは比べ物にならない、若者一人ひとりにとっての人生の行動指針ともなりうる。

また、地域にとっても若者というかけがえのないパートナーを得て、諦めかけた地域づくりが生きがいへと変化していく原体験を得る。この相互作用により100年後も、まちの魅力的なモノ・コトを生むヒトが育ち循環する。

そんな原体験をうむ宿泊拠点を、このまち雲南にうみだす。

雲南市の課題

「若者世代の人口減少」は、雲南市の大きな課題のひとつとして挙げられている。



令和2年「第二次雲南市総合計画 後期基本計画 第二期雲南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 P27図2“年代別原因者社会動態”
※転入には、県外から転入した者で市が職権により「記載」した人の数が、転出には、県外へ転出した人で、住民票から「削除」した人の数は含まない。

雲南市の課題でもあり、ひいては日本全国の地方の課題でもある。

地域に残された素敵な可能性

ヒト

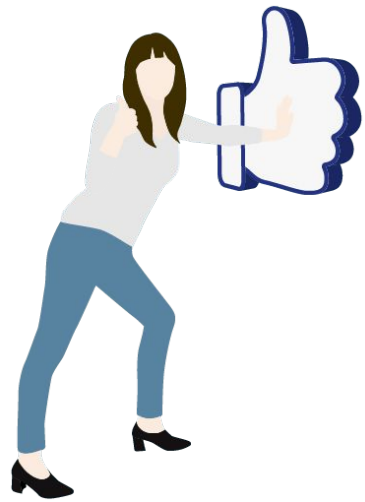
モノ

コト



つくりたい場のコンセプト

人生における圧倒的な原体験



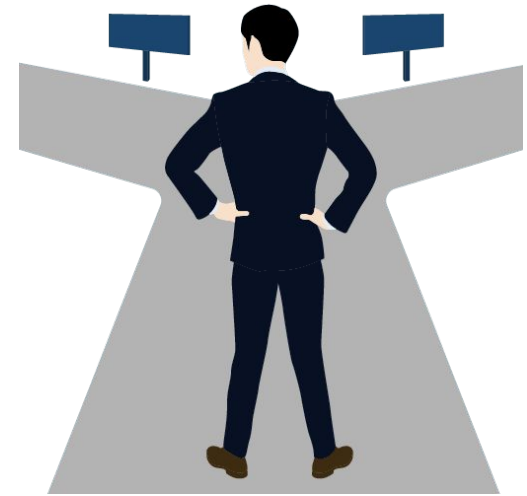
気軽に立ち寄れる

気軽に立ち寄れる仕掛けを
どうつくるか？



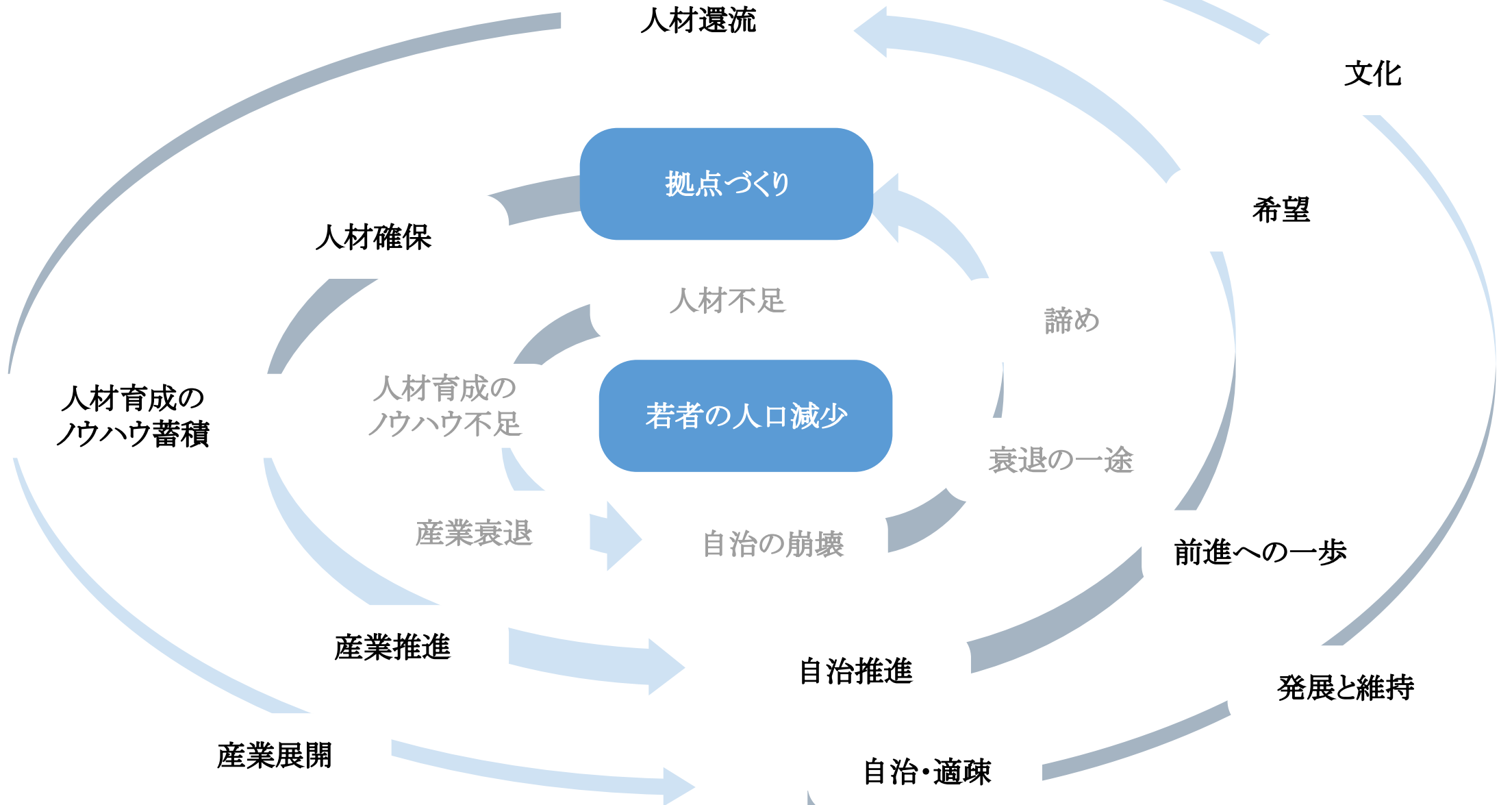
地域と共に

原体験をどう生むか？



原体験

その後取り組んでいること



終了後も継続する仲間との関係性

◆プレゼンター：山下実里

地域が一斉だったから、一緒にやっていたと私も思いました。
地域を越境して助け合えればと思います。議員さんら
巻き込むこと、私も勉強になりました。種まき、継続
本当にスゴいです。おのりさんの行動力、素直さ、真摯な姿
勢が周りの人を本気にさせていると思います。

心から、応援してまいります。

事業に対しての共感・応援とフィードバック

◆プレゼンター：山下さん

・インストアの整備がいいね。

・雲南の完結で世のこころは、島根県民に広域に活動を入れた

・お年寄りにも入る子に活動を入れた。 (若者の自己防衛の感も高まった)

・多世代交流の好事。 (地味にも期待を)

(コミュニティキャンパス内)

活動地では得れない客観的なアドバイス

◆プレゼンター: 山下 実里

行政予算は持続可能か？

第一の顧客と第二の顧客

セオリ-オブ・ファンズで考える